

1

わたしは～です。

ポイント 「…は～です。」という文の語順は〈主語+be動詞+～〉。

1. 「わたしは～です。」という表現を覚えましょう。日本語と英語それぞれの、主語には を、動詞には をつけて、英語の語順とくらべてみましょう。

わたしは トム **です** 。 ⇒ **am** Tom.
主語 動詞 主語 be動詞



fromは「～から、～出身の」という意味で、語順は必ず〈from+場所〉になるんだ。

わたしは カナダの出身 **です** 。 ⇒ **am** from Canada.

2. 「…は～です。」という表現をするとき、主語によってbe動詞（「～です」の部分）が変わります。主語がI（わたしは）のときはamを、you（あなたは）のときはareを使います。

あなたは ケンジ **です** 。 ⇒ **are** Kenji.
主語 動詞 主語 be動詞

英語の文はいつも大文字で始まるよ。youで始まる文はYouにしよう。

あなたは 日本の出身 **です** 。 ⇒ **are** from Japan.



1 次の日本語と英語の、主語には を、動詞となる部分には の印をつけなさい。

- (1) わたしはクミです。 I am Kumi.
- (2) あなたはケンジです。 You are Kenji.
- (3) わたしは東京の出身です。 I am from Tokyo.
- (4) あなたは北海道の出身です。 You are from Hokkaido.

人の名前や地名は、いつでも大文字で書き始めるよ！



2 次の日本語の、主語には を、動詞となる部分には の印をつけなさい。また、日本語に合うように、あとの（ ）内の語(句)をそれぞれの囲みの中に入れて正しい英文をつくりなさい。

(1) わたしはクミです。 (am / I / Kumi) .

.

主語、動詞以外の語句は の囲みの中に入れよう。

(2) あなたはケンジです。 (Kenji / are / you) .

.



(3) わたしは東京の出身です。 (from Tokyo / I / am) .

.

(4) あなたは北海道の出身です。 (Hokkaido / are / you / from) .

.

3 次の日本語の、主語には を、動詞となる部分には の印をつけ、英語にしてください。



文の終わりには必ず「。」を打とう。この点のことをピリオドっていうんだ。

(1) わたしはクミです。

(2) あなたはケンジです。

(3) わたしは東京の出身です。

(4) あなたは北海道の出身です。

4 次の英語の、主語には を、動詞には の印をつけなさい。また、それぞれ () 内に書かれた指示にしたがって書きかえなさい。

(1) I am Kumi.

(主語を「あなたは」にかえて。)

(2) You are Kenji.

(主語を「わたしは」にかえて。)

(3) I am from Tokyo.

(主語を「あなたは」にかえて。)

(4) You are from Hokkaido.

(主語を「わたしは」にかえて。)

Let's Challenge !

次の日本語の、主語には を、動詞となる部分には の印をつけ、英語にしてください。

(1) わたしはケンジです。

(2) あなたはメイです。

(May)

(3) わたしは日本の出身です。

(4) あなたはカナダの出身です。

すっきり😊!

人の名前や地名が変わっても、〈主語+be 動詞+〜〉や〈from+場所〉の語順は変わりません。

彼は～します。 / 様子を説明する語句

ポイント さんにんしやうたんすう 三人称単数が主語のとき、動詞には -s (または -es) をつける。

1. 「彼は」、「彼女は」、「ケンジは」、「わたしたちの先生は」など、三人称単数が主語のとき、一般動詞には -s (または -es) をつけます。-s (-es) のついた動詞の形を三人称単数現在形げんざいけいといいます。

三人称単数についてはP13 **知っておこう**  ! を見てね。



わたしは 野球 をします。⇒ I play baseball .

彼は 野球 をします。⇒ He plays baseball .

2. 「熱心に」、「上手に」など、様子や程度を説明する語は、〈動詞+〜〉のすぐあとに置きます。

彼女は 英語 を勉強します。⇒ She studies English .

彼女は 熱心に 英語 を勉強します。⇒ She studies English hard .

1 次の英語に , , の印をつけ、日本語にしなさい。

(1) He lives in Tokyo .

{

(2) She goes to school every day .

{

(3) My mother has a nice bag .

{

(4) Kumi plays the piano well .

{

動詞を三人称単数現在形にするとき、-s をつけるのか -es をつけるのかは動詞によってちがうよ。
have → has のように不規則に変わるものもあるから注意してね。



2 次の日本語に , , の印をつけなさい。また、日本語に合うように、あとの () 内の語をそれぞれの囲みの中に入れて正しい英文をつくりなさい。

(1) 彼は東京に住んでいます。(lives / Tokyo / he / in) .

.

(2) 彼女は毎日学校へ行きます。(goes / school / every / she / day / to) .

.

(3) 母はすてきなかばんをもっています。(mother / a / bag / has / my / nice) .

.

(4) クミは上手にピアノを演奏します。(the / Kumi / well / piano / plays) .

.

3 次の日本語に , , の印をつけ、英語にきなさい。

(1) 彼は東京に住んでいます。

(2) 彼女は毎日学校へ行きます。

(3) 母はすてきなかばんをもっています。

(4) クミは上手にピアノを演奏します。

play を「(楽器)を演奏する」という意味で使うとき、楽器名には **the** をつけるのが決まりだよ。



4 次の英語に , , の印をつけなさい。また、それぞれ () 内に書かれた指示にしたがって書きかえなさい。

(1) I like baseball very much . (主語を「彼は」にかえて。)

(2) You have an English book . (主語を「ケンジは」にかえて。)

(3) I use this computer . (主語を「わたしの父は」にかえて。)

(4) You watch TV every morning . (主語を「彼女は」にかえて。)

very much は 2 語で「とても」という意味(程度)を表して、like などの動詞と一緒に使うよ。



Let's Challenge !

次の日本語を英語にきなさい。

(1) 彼はとても上手に英語を話します。

hard, well など、様子を説明する語に「とても」という意味を加えるときには **very** を使おう。



(2) 彼女は毎日学校でピアノをひきます。 (P27 **すっきり** **!** 参照)

(3) クミは毎朝とても熱心に英語を勉強します。

すっきり !

様子を説明する語句はふつう〈動詞+〜〉のすぐあと、場所や時を表す語句よりも前に置きます。

He practices baseball **hard** every day . (彼は毎日熱心に野球を練習します。)

動詞+〜

様子を表す語句

時を表す語句